

令和4年度
奈良市議会と奈良大学ワークショップ報告書



奈良市議会

目 次

I. ワークショップの概要	2
II. ワークショップの内容	
第1回目	4
第2回目	7
総務委員会	7
観光文教委員会	8
厚生消防委員会	9
市民環境委員会	10
建設企業委員会	11
第3回目	13
総務委員会	13
観光文教委員会	13
厚生消防委員会	14
市民環境委員会	15
建設企業委員会	16
議員の全体へのコメント	17
総括	17

I. ワークショップの概要

◆目的

○市議会として

大学生に市議会の役割に対して関心や興味を持っていただき、地方政治をより身近に感じてもらうための各種機会を提供し、奈良市の未来を担う人材育成につなげていくこと。

○大学として

「リサーチオリエンテッドの精神の下、現実の問題にアプローチするために、自ら問題を発見し、解決していくため必要な、姿勢と技術を身に付けること」という大きな目標の下、学生たちが市政や地域社会への理解と関心を深めるとともに、今住む地域の様々な課題への具体的なアプローチ法、解決のための考え方、政策決定など、地域の中で実際活躍されている方々から学ぶこと。

◆開催日

10月24日、10月31日、11月14日

◆時間

大学の授業時間枠 月曜日14時40分～16時10分（90分間）

◆参加議員

・大学連携推進チーム

伊藤 剛副議長

太田 晃司議会運営委員長

九里 雄二議会運営副委員長

・総務委員会 森田 一成議員 柳田 昌孝議員

・観光文教委員会 北村 拓哉議員 岡本 誠至議員

・厚生消防委員会 白川 健太郎議員 山出 哲史議員

・市民環境委員会 八尾 俊宏議員 下村 千恵議員

・建設企業委員会 樋口 清二郎議員 井上 昌弘議員 藤田 幸代議員

◆参加学生

社会学部総合社会学科1年生

【1回目】48名 【2回目】50名 【3回目】44名

◆内容

【1回目】10月24日

太田委員長の講義 テーマ「市政についての理解、委員会の概要」

【2回目】10月31日

常任委員会別ワークショップ

【3回目】11月14日

常任委員会別ワークショップについての報告

◆委員会別テーマ

○総務委員会

- ・危機管理・防災行政について
- ・財政と主要な施策について
- ・選挙について

○観光文教委員会

- ・学校給食と地産地消の取組について

○厚生消防委員会

- ・子どもセンターについて

○市民環境委員会

- ・クリーンセンターについて

○建設企業委員会

- ・上下水道について
- ・魅力のある公園づくり
- ・まちづくり（大和西大寺駅、JR新駅）



Ⅱ. ワークショップの内容

第1回目 10月24日 太田委員長の講義

◆講義の内容

テーマ「市政についての理解、委員会の概要」

①導入（自己紹介）

- ・よく尋ねられる質問
- ・議員活動は街づくり活動（政党以外の活動を紹介）

②市政についての理解

- ・市議会とは一体何なのか
- ・市議会の構成や仕事内容
- ・市議会の仕組み（1年間の定例会の流れ）

③委員会の概要

- ・五つの常任委員会の概要と市政が抱える主な課題の紹介
- ・議会運営委員会
- ・広報広聴委員会
- ・議会改革推進特別委員会

④政治と教育について

- ・2022年からは選挙権も成人年齢も18歳へ
- ・なぜ投票行動が大切なのか

◆質疑応答

問：議員提案条例はどのようにしたら採択されるのか？そのプロセスについて。

答：まずは市民からの様々なアイデアを頂くことが大切。その上で、議会で条例として必要かどうか、政策的な観点から協議をする。

問：コロナ対策については、危機管理を扱う総務委員会以外にも保健所を扱う厚生消防委員会も関連すると思うが、議会ではどのように審査しているのか？

答：各常任委員会での質疑だけではなく、本会議での一般質問を行うことで所管がまたがるテーマについて質問ができる機会がある。

問：大和西大寺駅は開かずの踏切が問題となっているが、その解決方法はあるのか？

答：駅南北の自由通路や南北ロータリー整備は進んでいるが、開かずの踏切は今後の大きな課題。国、県、市、近鉄と将来的な駅高架に向けて協議をしている。

問：奈良市は観光業としてもうかっているのか？

答：観光客を運送する旅客業、土産物を扱う小売業、宿泊業など様々な業態が観光経済に関わっているの、一概にもうかっているかどうかは判断できないが、奈良

市の経済活動の根幹となっているのもうかるように力を入れている。ただ、この数年はコロナで観光客の落ち込みがあったため、その対策でマイクロツーリズムなどに力を入れている。

◆学生の感想

①初めて知ったこと

- ・議員の仕事は政策を考え、その事務的作業と議会での討論だと思っていたが、かなり広い分野でまちづくりに貢献し、地域活性の方針を決めるだけでなく、実際に行動し地域と深く交流していると知った。
- ・委員会の種類がこんなにあると思わなかった。
- ・市議会議員が学生インターンシップの受入れをしていること。青年団体での活動について（日本と国際交流）。
- ・全国の地方議員と交流があるのは何となく想像できるけど、国を超えて国際交流活動があるのはびっくりした。
- ・定例会が年4回あること。
- ・市議会に定例会と臨時会というものがあり、それは年に何回も行われていること。いろいろな委員会があって、市民の生活について話し合っている。
- ・地方議員の細かい仕事内容について高校では学ばなかったため、地域での防災活動など地域にひもづいた活動をしていることを知った。市議会の議員の定数や任期が、国と違うことを初めて知った。常任委員会にも複数の種類があり、分野ごとに分かれていることを初めて知った。総選挙の投票率が20代より10代の方が高い投票率であること。

②最も関心を持ったこと

- ・20代の投票率が一番低かったことが興味深かった。インターンシップにも関心を持った。
- ・議会外での活動で他の地方議員との連携などは何となく予想はつくが、インターンシップや青年団体での活動は全くイメージがなかったので、そんな広い活動があるんだと思った。
- ・清酒での乾杯条例、全国の地方議員との連携。
- ・JRの新駅づくり。総務省と文部科学省の主権者教育のための副教材（学生向け）。まずは、今のニーズに合わせたアイデアから（条例）。
- ・議員たちが市民のために様々なことを話し合っている。政治に関心がなくてもいいが関係ないとは言えない。
- ・最も関心を持ったことは、常任委員会が市政の課題に取り組んで子どもセンターや魅力ある公園づくりを扱っていることに最も関心を持った。
- ・議員活動＝街づくりそのものという考えはすばらしいと感じた。国も地方も市民

と内閣と国会のような三角関係があることを知った。衆議院議員選挙の投票率が60代と20代で倍近く差があるということ。建設企業委員会について興味を持った。

③質問してみたいこと

- ・意見書と政策の提案の違い。
- ・なぜ成人年齢や選挙権の対象を下げたのか？
- ・地元のまちづくりで何から始めればいいのか？
- ・総務委員会で出たアイデアを深掘っていくと、観光文教委員会の管轄だと分かったときにどうするのか、観光文教委員会にその意見がいくのか、そこで終わりなのかなど。
- ・市民の声はどうやって委員会まで届いているのか？条例って何者？アイデアの提出先はどこ？
- ・高齢者に寄り添った政策を掲げる候補者の方が当選しやすいのか？
- ・具体的な審議の方法について。

◆議員の感想、その他

- ・常任委員会ごとの第2回目・第3回目のワークショップでのテーマを講義中に事前に紹介することで参加学生の理解が進むように工夫をした。
- ・質疑応答の時間では学生から活発な質問があるかと考えたが、学生が質問しやすいように副学長がフォローを頂いたりするなど、一定の工夫をされていた。



第2回目 10月31日 常任委員会別ワークショップ

○委員会の概要説明（九里副委員長）

始めに九里副委員長から出席議員の紹介及び各常任委員会の紹介を行った。



○総務委員会（森田議員、柳田議員）

◆テーマ 危機管理・防災行政について、財政と主要な施策について、選挙について

◆内容

- ・ 防犯カメラ設置事業や実災害などへの対応、防災備蓄の考え方について
- ・ 令和4年度の当初予算、令和3年度決算の内容、主要な施策四つの柱について
- ・ 選挙権を得る年齢が、18歳以上になったものの、若い世代ほど投票率が低い現状について



◆学生からの意見等

- ・ 災害時に、奈良への派遣が大久保（京都）の陸上自衛隊から来てくれるのは知らなかった。
- ・ 選挙について、各政党の政策を聞くと投票率が高そうな比較的高齢者向けになっている気がする。
- ・ どの世代がどの党を支持しているのかなどの情報が知りたい。

◆議員の感想、その他

- ・ 18、19歳の学生たちに初めて講義をしたが、真剣に聞いてくれて自分にとっても良い経験になった。
- ・ 奈良大学の学生たちは、比較的投票に行っていることが分かり、感心した。



○観光文教委員会（北村議員）

◆テーマ 学校給食と地産地消の取組について

◆内容

今回テーマを「学校給食と地産地消の取組」に設定し、最初に用意した資料に基づき、奈良市の取組の概要について、議会の議論を交えて話を行い、このテーマで交流・意見交換した。



◆学生からの意見等

- ・ 家族が農業を営んでいる学生さんも少なくなくて、高齢化が進む現状や困難な実態も間近で見ている展望がなかなか見えないこと。「地産地消にこだわらなくても」と率直な思いが出された。

- ・ 学校給食の目的や意義、奈良市の給食の歴史、地産地消とのつながりなど話したことについて、「初めて知った」「栄養価が高く、できるだけ費用を抑え給食が提供されていて感謝に堪えない」「自分にできることはないか考えてみたい」などの感想も聞かれた。

◆議員の感想、その他

当日、岡本議員が急遽参加できなくなり、一人で話したり、進行したり、メモしたり、大変でしたが、なんとかこうにかやった感じだった。



○厚生消防委員会（白川議員、山出議員）

◆テーマ 子どもセンターについて

◆内容

白川議員より、配付資料に基づき説明

- ・ 厚生消防委員会について
- ・ 子どもセンターについて
- ・ 児童相談所を取り巻く課題について



◆学生からの意見等

質問①心理的虐待の内容について

②非行の内容について

◆議員の感想、その他

今回参加した学生にとって、子どもセンターは身近な存在でないため、設立の意義や機能などについて、理解が難しかったのだろうと感じた。



○市民環境委員会（八尾議員、下村議員）

◆テーマ クリーンセンターについて

「嫌悪施設か？希望の星か？奈良市クリーンセンター問題」

◆内容

- ・奈良市環境清美工場の現状
- ・移設問題（公害調停、老朽化）
- ・候補地選定における民意の反映
- ・解決のための三つのメソッド
- ・宿題：正解はないが答えを出す

◆学生からの意見等

- ・環境清美工場がどこにあるか知らない。
- ・地元では山奥の見えない場所にある。
- ・地元ではきれいな外観で、悪印象はない。
- ・現地建て替えが良いのではないか？
- ・住民投票で候補地を選んでほめか、もし自分の地元が投票で選ばれたら仕方がない。



◆議員の感想、その他

事前情報や関係構築がない中では、積極的な意見が出にくく、短時間でのディスカッションの難しさを感じた。若い世代の率直な意見が聞けた点は有意義だった。



○建設企業委員会（樋口議員、井上議員）

- ◆テーマ 上下水道について、魅力のある公園づくり、まちづくり（大和西大寺駅、JR新駅）

◆内容

- ・所管業務の水道事業、公園、まちづくりについて概要説明を行い、学生の希望を聞き、ワークショップを行うテーマを公園・まちづくりに決定した。
- ・公園・まちづくりで、疑問に思う点、改善の意見を、学生に出してもらった。

◆学生からの意見等

公園について

- ・球技ができる公園が少ない。
- ・雨のときに遊べる公園が欲しい。

まちづくりについて

- ・バスや電車の本数が少ない。
- ・道路の凸凹が多い。
- ・自転車道が必要だ。
- ・人が集まるテーマパークが必要だ。



◆議員の感想、その他

- ・暮らしの身近な道路や公園に関する、疑問点や問題点が多く出された。
- ・屋根のある公園の整備などについては、必要か、不要かを学生に挙手してもらい、それぞれの立場から議論をした。
- ・学生にとって、政治や暮らしについて考える有意義な場になったと思われる。
- ・各学生の思っている意見を出す場となっており、現状の問題点の整理や、それを

解決する方法まで、時間をかけて探求するカリキュラムが含まれている方が、より実施意義は大きくなると思われる。



- ・皆さんの意見は学校給食の意義を踏まえた上で、給食食材に地産地消の地場野菜等を取り入れることにこだわるのは、農業従事者の減少や後継者不足で農業経営や継続の見通しが無い中で、無理ではないか？そもそも可能なのか？というものだった。
- ・一人ひとりがマイクを握り、話もしてくれましたが、地産地消自体を否定しているのではないこと、それを進めるには農業に展望が持てたり、農業従事者が増えたりするような根本的な問題を解決することが必要ではないかと、とても本質的な問題を指摘する学生さんもいた。よく考え、話し合ってもらったものだと思う。

◆議員の感想、その他

- ・この問題について更に考え続けてほしいこと、生産者からの聞き取りなど様々な視点から情報も集め考えていっていただけたらとコメントさせていただいた。
- ・真面目な学生さんの姿勢がとても印象的だった。



○厚生消防委員会（白川議員、山出議員）

◆発表の内容、意見等

- ・スライドによる子どもセンターの紹介

◆議員の感想、その他

今回参加した学生にとって、子どもセンターは身近な存在でないため、設立の意義や機能などについて、理解が難しかったのだろうと感じた。



○市民環境委員会（八尾議員、下村議員）

◆発表の内容、意見等

- ・ 第2回の宿題「候補地選定について、自分たちなりの答えを出す」について発表してくれた。
- ・ 住民投票で候補地選定。
- ・ どのような施設を建てるかは、その地域の住民の要望を反映。
- ・ 奈良公園付近など人の多いエリアをあえて選び、観光名所として建設。
- ・ 「寺風」クリーンセンター。
- ・ エネルギーの活用で温泉やカフェなど、施設内容にもこだわりを。

◆議員の感想、その他

- ・ 「宿題」にのっとって発表してくれた。講座の趣旨である社会課題への向かい方の一つとして、三つのメソッドを提案したが、その観点でまとめてくれたと思う。





○建設企業委員会（樋口議員、藤田議員）

◆発表の内容、意見等

- ・公園でボールが使えない現状について、時間制にするなど解決方法が示されていた。
- ・道路損傷等システムをいかにして、多くの人に知ってもらうのか。その必要性と重要性が示されていた。
- ・各学生から、新たな視点での気づきがあったとの発言があった。

◆議員の感想、その他

- ・発表時間が5分であったが、発表時間が5分では短く感じた。また、発表は5分程度との説明であったが、時間管理も行った方が、より内容の充実度が増すと思われる。



○議員の全体へのコメント

- ・今まであまり身近に感じていない政治、行政について知るきっかけとして、一生懸命考えていただいたと思う。いろいろな意見の発表があり、いろいろな視点で考えていただいたことは新しかったと思う。私たちも何を目的にしているのかと考えたときに、世の中的に良いと言われていることが本当に良いのか、悪いと言われていることは本当に悪いのか、ということも含め、新しくいろいろな協議をいただけたかと思う。
- ・中学高校での公民の授業ではなく、現場の行政、政治で何が行われているのか、皆さんにとって触れる機会としても今回、捉えていただきたいと思う。私たちも学生ならではの気づきをたくさん頂いた。クリーンセンターの建設を観光の視点を交えながらという発表もあり、私たち議会も是非参考にし、次の奈良市政に生かしていきたいと思う。皆さんは今回の気づきを大切にいただき、奈良市政や、それぞれの住んでおられる町の身近な行政とは何なんだと考えていただき、それぞれの町はどうすれば良くなるのかを考える視点を持っていただけたと思う。今後とも政治、行政に関心を持っていただきたい。



総括

○伊藤副議長の講評

今回のワークショップの目的は、学生の皆さんに市政や地域社会への理解と関心を深めてもらい、地域の中で活動している私たち議員から、今住んでいる地域の様々な課題への具体的なアプローチ、解決のための考え方、政策決定などを学んでいただくということだった。私ども議員としては、ワークショップの目的に対して、少しでも力になれるように、どのようにすれば学生の皆さんが意見を言いやすいだろうかとの思いで臨み、参加をさせていただいたところである。発表を拝見し、奈良市の政策や、皆さんの住んでいる地域のことに少しでも関心を持っていただけたのではないかと思う。

まず総務委員会の発表について、投票率低下については政治について関心が無い、分からない、これに対し、面白い動画を作ったらどうか、教科書にQRコードを付け政党

の最新情報を発信してはどうか、街頭演説をSNSで発信してほしい、こういった貴重な意見を頂いた。

市民環境委員会の発表は、クリーンセンターをどこに建てるかについて、人の集まりやすい所で良いイメージを発信することを目的として、例えば東大寺の近くなどという斬新な意見や、寺のようなデザイン、温泉カフェ、ホテルを内蔵したものなど、ユニークなアイデアを出していただき、議員としても参考になった。

厚生消防委員会の発表では、子どもセンターについて、地域子育て支援センター、子どもの発達相談、キッズスペース、児童相談所といった機能をしっかりを押さえていただき、素晴らしい施設ができたので多くの人に知ってもらい、活用してもらいたいという思いを発表していただいた。

建設企業委員会の発表では、公園については、若い人たちが球技をできるように時間別で使えるようにしてはどうかという新しい発想や、道路については、道路損傷等通報システムのような良い制度をもっと周知したらどうかといった御意見を頂いた。

観光文教委員会は、学校給食の地産地消に反対という皆さんの意見を集約した中での意見を発表された。こういう視点も参考にし、新たな調査をしていかないといけないと思った。

五つの常任委員会に対する若い皆さんの御意見を参考に、しっかりと市政に反映するという努力を重ねてまいりたいと思う。

先日、今回の授業の担当の先生から、議員を目指すには何が必要なのかと聞かれた。これについては、奈良市議会には38人の議員がおり、それぞれの思いを持って市政に臨んでいる。議員になられた経緯は各人各様、それぞれ背景を持っておられる。学生の皆さんがこの議員さんに話を聞いてみたいという方がおられたら直接、遠慮なく議員に聞いていただくのが確実だと思う。

皆さんとのワークショップを通し、私たち議員も若いエネルギーを頂き、触発され、有意義な時間を過ごすことができた。また、貴重な御意見はこれからの市政発展へと生かしてまいりたい。皆さんの学生としての学びがより深まり、奈良大学生として誇りを持ち、楽しい学生生活を送っていただくことを願い、ワークショップのまとめとする。

